



STOP暴走政治、戦争法廃止、壊すな憲法
暮らしもる共同で、賃上げ、雇用の安定、地域活性化を実現しよう!

16春闘NEWS

NO. 1 2016. 2.26

発行 宮城県春闘共闘/宮城県労連 TEL:022-211-7002 FAX:022-211-7004
〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-5-13 mygroren@bz03.plala.or.jp

2.23地域総行動 労働団体・市民団体 共同参加で100人が行動!

宮城県春闘共闘会議は、寒風の2月23日、「2016年春闘勝利」「安保関連法=戦争法廃止」「労働法制改悪反対」をスローガンに掲げた「2.23地域総行動」を実施しました。

■早朝宣伝27人 (旧みずほ銀行前)

早朝8時15分からの宣伝行動には宮城一般、県国公、医労連、建交労、高教組、通信労組、福保労、みやぎ青年ユニオン、事務局から27人が参加。安藤満代表幹事(県労連議長)ら、参加単産代表が市民に



【旧みずほ銀行前での早朝宣伝行動】

それぞれの組合の要求課題をマイクを握り訴えかけました。この日、県春闘共闘の行動に先立ち、同じ場所で宣伝行動をしていた連合宮城の小出裕一会長と安藤代表幹事が「春闘勝利」と「労働法制改悪阻止」を誓い合い、ガッチリ握手を交わし、エール交換しました。この行動では春闘チラシ、ティッシュを1000セットを配布しました。

■決起集会35人 (仙都会館)

午前9時半。仙台駅前仙都会館で早朝行動参加者をはじめ、36人で決起集会を開催。鈴木新代表幹事(宮城一般労組委員長)が、「2016年春闘と戦争法廃止のたたかいを結びつけ、地域住民とともにたたかおう」と力強く挨拶。参加組織代表から次々と決意表明がありました。最後に村上智志代表幹事(宮教組委員長)の「団結ガンバロー」で閉会しました。『河北新報』が同集会取材しました。

■昼デモ行進65人 (北門→一番町肴町公園←市民の広場グリーンハウス前)

昼、東北大北門(南コース)、グリーンハウス前(北コース)からそれぞれ一番町肴町公園まで「戦争法廃止」「野党は共闘」を求めるデモ行進が実施されました。これには県春闘共闘、市民団体・共産党などから65人が参加しました。主催者・呼びかけ人を代表し、安藤県労連議長が、「今夏の参議院選挙・国政選挙に際して、民主党、共産党、社民党、維新の党、生活の党の5野党が安倍政権と真っ向から対決する『野党協力』を合意した。これは私たちの運動と世論の大きな成果だ。確信をもって戦争法廃止までたたかい抜こう」とあいさつしました。

■地域春闘の行動

塩釜春闘共闘は、早朝、ソニー多賀城テクノロジーセンター前で春闘チラシ、署名行動を実施。大崎地方労連では古川駅前でもチラシ、ティッシュを配布。石巻春闘共闘では24日夜、「雇用問題学習会」を「いの健センター」の芳賀直事務局長を講師に開催しました。

地域への申し入れ・訪問行動

商店街訪問 午前中、長町、荒町、宮町の各商店街に、①中小企業支援拡充、②消費税増税反対、戦争法廃止を求める署名依頼で訪問。25人で96件訪問。さらに午後、宮城一般労組独自で原野町商店街、連坊小路商店街を11人で56件訪問。さっそく25日から原野町商店街の賛同署名が届けられはじめています。

宮城労働局 午前、安藤・鈴木新代表幹事、建交労小林書記長、医労連中山副委員長、同小玉書記長、鎌内事務局長で労働局要請。労働時間の規制緩和は、長時間労働を是正するため。最賃決定は、生計費だけでなく事業所の支払い能力を考慮している。業務改善助成金は、使い勝手の良い制度への改善が必要。労働基準監督官の増員要請はうれしい要請。最賃審議委員任命は局長の総合判断によると、厚労省の見解の立場で回答。

宮城県商工会議所連合会 上記役員とソニー労組仙台支部松田委員長が出席。政府は、やっと地方の中小企業に目を向け始めたと認識しているが、まだまだだ。地域の事業所は人手不足。地域に立脚した目で、魅力あるどういう街づくりをすすめるかが地域経済活性化の課題。

宮城県経営者協会 24日午前、安藤代表幹事、鈴木新代表幹事、鎌内事務局長が出席。経済情勢の変化が速く、それに対応しなければならない。正規社員と非正規社員の格差問題は深刻だ。積極的な正規雇用への転換をはかりたい。しかし、最賃一律1000円の実現は、ハードルが高過ぎる。やはり、企業の支払い能力もある。今年の春闘の賃上げは昨年以上に強い社会的要請があると認識している。



【午前 決起集会 仙都会館】



【昼デモ 一番町】



【昼宣伝 旧みずほ銀行前】



【宮城労働局要請】



【商店街訪問】